

# 雇用契約書

## 被雇用者記入欄

氏名	■■■■■	生年月日	■■■■■
現住所	〒■■■■■ 東大阪市■■■■■		
電話番号	■■■■■	緊急時の 連絡先	■■■■■

下記条件で契約を締結する。

## (雇用条件)

雇用期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
就業場所	東大阪市■■■■■
業務内容	政務活動補助業務 ・ 政務活動に必要な資料作成・図書及び資料の収集補助 ・ 政務活動の為の事務に要する用品調達等の補助
就業時間	午前10時～午後6時内（休憩1時間） ※但し、業務内容によっては就業時間や日の変更もありうる。
休日	土・日曜日・祝日 ※但し、業務内容によっては休日の勤務もありうる。
給与(賃金)	(月額・日額) (時給) 1,200円
給与支払	未締め 翌月8日支払
給与支払方法	現金払い

上記雇用期間満了をもって本契約を解除する。

※本契約書は2通作成し、雇用者及び被雇用者双方が各1通を保管する。

令和5年4月1日

(雇用者) 会派名と代表者名  
東大阪 翔の会



# 雇用状況報告書

(雇用者) 東大阪 翔の会

野田 彰子



No	氏名	雇用期間	按分率
	住所	主な職務内容	按分率の根拠
	親族関係	給与(賃金)	
1	■■■■■	令和 5年 4月 1日~令和 6年 3月 31日	政務活動(100)% その他の活動( )%
	■■■■■	政務活動補助業務	
		・政務活動に必要な資料作成・図書及び資料の収集補助 ・政務活動の為の事務に要する用品調達等の補助	
	<input checked="" type="checkbox"/> 雇用者の3親等以内の親族ではありません。	(月額・日額・時給) 1,200円	
		令和 年 月 日~令和 年 月 日	政務活動( )% その他の活動( )%
	<input type="checkbox"/> 雇用者の3親等以内の親族ではありません。	(月額・日額・時給) 円	
		令和 年 月 日~令和 年 月 日	政務活動( )% その他の活動( )%
	<input type="checkbox"/> 雇用者の3親等以内の親族ではありません。	(月額・日額・時給) 円	

※提出資料として、雇用契約書の写しを添付

※親族関係について、3親等以内の親族にあたらぬ場合は□にチェック



領収書貼付用紙		10/10	No. 28
支出内容	人件費 調査研究補助業務給料		
総経費	46,800 円	政務活動費	計上額 46,800 円
			按分率 1

※按分の場合は、按分の内容と政務活動費として計上する金額を記載すること。  
 ※図書等の購入については、領収書で書名が確認できないときは余白に記載すること。  
 ※その他、補足事項があるときは余白に記載すること。

領 収 証

株式会社 翔の会 様 令和5年10月10日

★ ￥46,800 円

但 令和5年9月1~30日分以  
 上記正に領収いたしました

内 訳  
 税抜金額  
 消費税額等(%)  
 内 訳  
 税抜金額  
 消費税額等(%)

[Redacted]

[Redacted]

登録番号 691023

9月分 労働時間表

スタッフ



月	日	曜日	時 間	時 間	合計時間	
9	1	金		18:30~21:30	3	
	2	土				
	3	日				
	4	月		18:30~20:30	2	
	5	火		18:30~20:30	2	
	6	水		18:30~20:30	2	
	7	木				
	8	金		18:30~21:30	3	
	9	土				
	10	日				
	11	月				
	12	火		18:30~20:30	2	
	13	水		18:30~20:30	2	
	14	木		18:30~20:30	2	
	15	金				
	16	土				
	17	日				
	18	月				
	19	火				
	20	水		18:30~21:30	3	
	21	木				
	22	金				
	23	土				
	24	日	10:00~12:00	13:00~18:00	7	
	25	月		18:30~21:30	3	
	26	火				
	27	水		18:30~21:30	3	
	28	木				
	29	金		18:30~20:30	2	
	30	土		18:30~21:30	3	
2023年 9月分合計時間					39	46,800 円 ✓

領収書貼付用紙				10/16	No. 29
支出内容	資料購入費	新聞購読料			
総経費	5,100 円	政務活動費	計上額	5,100 円	按分率 1

※按分の場合は、按分の内容と政務活動費として計上する金額を記載すること。  
 ※図書等の購入については、領収書で書名が確認できないときは余白に記載すること。  
 ※その他、補足事項があるときは余白に記載すること。

領 収 証

東大阪 翔の会 様 No. \_\_\_\_\_

★ 5,100-

- 内 訳 \_\_\_\_\_
- 現金 \_\_\_\_\_
- 小切手 / \_\_\_\_\_
- 手形 / \_\_\_\_\_
- 消費税額等(%) \_\_\_\_\_

但新聞購読料 令和5年4月~7月16日  
 令和5年10月16日 上記正に領収いたしました



〒579-8058 東大阪市神田町1番1号 中西新聞

河内新聞

TEL 072-929-8539

FAX 072-929-9260

登録番号 T1122001018181



コクヨ ウケ-98

様式第12 (第6条第3項関係)

領収書貼付用紙		10/18	No.
支出内容	その他経費 (日常活動費) 電車賃チャージ		30
総経費	10,000 円	政務活動費	計上額 2,500 円
			按分率 $\frac{1}{4}$

※按分の場合は、按分の内容と政務活動費として計上する金額を記載すること。  
 ※図書等の購入については、領収書で書名が確認できないときは余白に記載すること。  
 ※その他、補足事項があるときは余白に記載すること。

領 収 書

ご利用日付 : 2023年10月18日  
 カード番号 : XXXXXXXXXX  
 取引内容 : チャージ  
 金 10000円

伝票番号 : XXXXXXXXXX

- ・この領収書は大切に保存してください
- ・ご利用ありがとうございます



河内小阪駅9101号機発行  
 近畿日本鉄道株式会社

注) 1ページに複数枚の貼り付け可。ただし、重ならないように貼り付けること。

領収書貼付用紙				10/20	No.
支出内容	その他経費 (事務費)	コピー代			3/1
総経費	3,300 円	政務活動費	計上額	3,300 円	按分率

※按分の場合は、按分の内容と政務活動費として計上する金額を記載すること。  
 ※図書等の購入については、領収書で書名が確認できないときは余白に記載すること。  
 ※その他、補足事項があるときは余白に記載すること。

No 004317

<b>領 収 証</b>				印 紙
令和 5 年 10 月 20 日				
東大阪翔会様				
金 額	百万	千	円	
¥		3	300	
但R5.8月分コピー代 (口座振替分)				
上記の金額正に領収致しました				
 <b>株式会社 カンサイ</b>				
本 社 大阪市東成区深江南1丁目12-14 TEL 06-6976-6051 FAX 06-6974-3393				
京町堀 TEL 06-6446-1212 FAX 06-6443-3221 東大阪 TEL 072-962-8451 FAX 072-964-8876 O B P TEL 06-6942-4466 FAX 06-6942-4468				
				係 印 

注) 1ページに複数枚の貼り付け可。ただし、重ならないように貼り付けること。



領収書貼付用紙		10/23	No.
支出内容	会議費	備前マシテ	32
総経費	1,100 円	政務活動費	計上額 1,100 円
			按分率 1

※按分の場合は、按分の内容と政務活動費として計上する金額を記載すること。  
 ※図書等の購入については、領収書で書名が確認できないときは余白に記載すること。  
 ※その他、補足事項があるときは余白に記載すること。

領 収 証                      野田しょうこ                      様                      No. \_\_\_\_\_

★ ￥1,100-

但 備前マシテ

登録番号:T1810053619232

令和 5 年 10 月 23 日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

収 入  
印 紙

コクヨ ウケ-55

税理士

TEL

No. 32

会議費 活動記録簿

会派名とその経理責任者名

東大阪 翔の会

野田 彰子



年月日	令和 5年 10月 23日 ( 月 )
会議名称	経済の勉強会 儲かりマンデー
主催者	[Redacted]
開催場所	[Redacted] 中務所
参加人数	11名
目的・内容	大阪商科大学 経済学部 敬後 [Redacted] 経済学部2の講師と して一を相互からの質疑応答も 時に東大阪にもある 観光面や 経済面でのレジャーの 行政に ついてのやり取り

上記会議に要した経費の内訳を下記に記載する。

経費項目	支出明細	金額	経費項目	支出明細	金額
参加費		1,100			
備考			支出合計		1,100

会議の開催通知・スケジュール等を添付すること。

ただし、添付できない理由がある場合は理由を明記すること。

風を読む

# 2023年 世界の動き



大阪商業大学総合経営学部教授

経済学博士 中津孝司

中学校から高等学校に進学した時期に、授業の内容を理解できず、登校することが嫌

になった。入院したいと思うほどだった。現実から逃避しなかった

のだらう。しかしその当時、「不登校」なる言葉はなく、社会的な認識も乏しかった。むしろ「不登校」悪という構図だった。

幸い、問題を自己早期に消化、克服後は楽しい高校生活を満喫できた。

集合住宅や携帯電話普及が問題を深刻化させている面もある。集

近所付き合いが希薄になる。スマートフォンにはネット情報が溢れる。社会的なコミュニケーションが不足する

と、個人はますます孤立する。孤立は孤独を招き、仮想空間に埋没して、犯罪や自殺に手を染めてしまうこともある。

反旗を翻し、留学を決める。高校に通学する価値を見出せず、自ら勉強する道を選択したという。日本の教育方針にもうの受け皿となっていた。

しかし、何よりも重要な要素は親の理解である。親が「不登校」の子どもを恥ずかしく思わないこと、この一点に尽きる。紋切りの教育制度では問題を解決できない。個人

の事情に社会全体が寄り添う姿勢こそがまず必要である。今春、入学してきた新入生のなかに欠席を繰り返す女子学生がい

大阪商業大学総合経営学部教授

経済学博士 中津孝司

わち高校や入寮制の高校、それにフリースク(学校に代わる学びの場)などが定着するようになった。「不登校」支援カウンセラーも活躍している。「不登校」を克服できる制度が「不登校」の子どもの受け皿となっていた。この決断に即刻賛同した。

研究室で事情を尋ねると、貧血が酷く起床できず、増血剤を投与しているという。この辛さは本人にしか分からないだろう。それからしばらくして、通信制の大学に移籍した。この申し出があった。この決断に即刻賛同した。

高校に入学した当初、入院したいとまで思ったが、脳梗塞で入院生活を送っていたとき、窓越しに外を見ながら、早く退院したいと痛感した。人間とは勝手なものである。束縛されず、自由な空気を満喫できる空間があるには必要なのである。

この空間を再現できれば、「不登校」を特別視すべきでない。

## 不登校は罪ではない

その一方で、「不登校」や「引きこもり」を白眼中に浸透し、社会的な認知、理解も進むようになってきている。「不登校」の子どもを受け入れる教育機関、すな

「不登校」、「引きこもり」から脱却できたケースも多い。日本の教育制度を否定して、高校卒業の資格を取得したケースを知っている。このケースの場合、登校「支援カウンセラー」も活躍している。「不登校」を克服できる制度が「不登校」の子どもの受け皿となっていた。

この空間を再現できれば、「不登校」を特別視すべきでない。

風を読む 57

# 2023年 世界の動き



大阪商業大学総合経営学部教授  
経済学博士 中津孝司

残虐極まりないロシア行と何ら変わりはない。ア・プーチン政権により。ナチスのようにプ

るウクライナ侵略は早。プーチン大統領の目論み

晩、失敗する。理由は。結局はヒ

ロシアが経済的に消耗するからである。軍事行動は本来、合理的な

選択でない。ロシアが。迎える。

ウクライナに侵攻する。正当性は微塵もない。

極悪非道なプーチン大。ロシア経済は絶好調

統領の最終目標はウク。だど内外に吹聴されて

ライナというアイデン。いる。しかし、それは

ティティーを完全否定。ループル経済圏に限定

して、ウクライナ市民。された見せかけに過ぎ

言われているが、ウク。済基盤である。経済制

ライナ占領地域での復。裁で資源エネルギーの

興事業がその実態であ。輸出が大幅に制限され

る。ウクライナ軍が進。ると、たちどころに経

める反転攻勢でロシア。済活動は停滞し、内向

に略奪された領土は奪。き志向となる。結果、

選でできるから、ロシア。財政赤字が山積し、経

経済にはまったく奇与。常黒字も激減、ロシア

しない。原油や天然ガスなど。経済は縮小均衡してい

原産地や天然ガスなど。の資源エネルギーを輸

出している。必要財・サ。り世代が大挙して祖

侵攻直後から動き盛。ウクライナ軍事侵攻

の資源エネルギーを輸。で明らかになったが、

出して、必要な財・サ。ロシアの軍装備は老朽

出している。必要財・サ。化が進み、武器・弾薬、

出している。必要財・サ。降板後に登場する指導

出している。必要財・サ。者も、いずれはウクラ

出している。必要財・サ。イナ侵略を企てるに違

出している。必要財・サ。ない。

出している。必要財・サ。ウクライナ市民は一

出している。必要財・サ。致団結して、国力の強

敗北を認めない。だ。が、ロシア軍最高司令

官プーチンは戦争責任。を問われる。プーチン

が、ロシア軍最高司令。を問われる。プーチン

が、ロシア軍最高司令。を問われる。プーチン

が、ロシア軍最高司令。を問われる。プーチン

が、ロシア軍最高司令。を問われる。プーチン

が、ロシア軍最高司令。を問われる。プーチン

が、ロシア軍最高司令。を問われる。プーチン

が、ロシア軍最高司令。を問われる。プーチン

が、ロシア軍最高司令。を問われる。プーチン

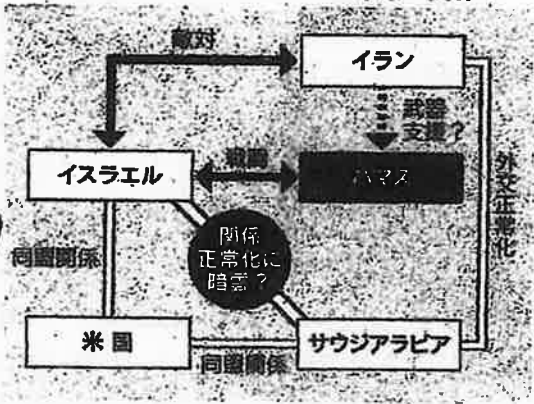
## ウクライナ侵略は失敗する

「経済学博士 中津孝司」の著書『2023年世界の動き』から、ウクライナ侵略の現状と今後の見通しについて解説する。ロシアの侵攻は、短期的にはウクライナを弱体化させることに成功しているが、長期的にはロシア自身の経済的・社会的負担が増大し、最終的には失敗するであろうと予測している。また、ナチス・ドイツの蛮行による経済的支えについても触れている。

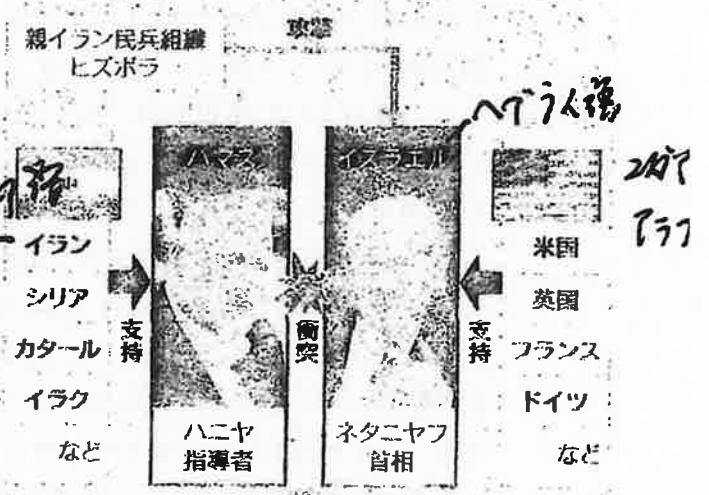
イスラエル



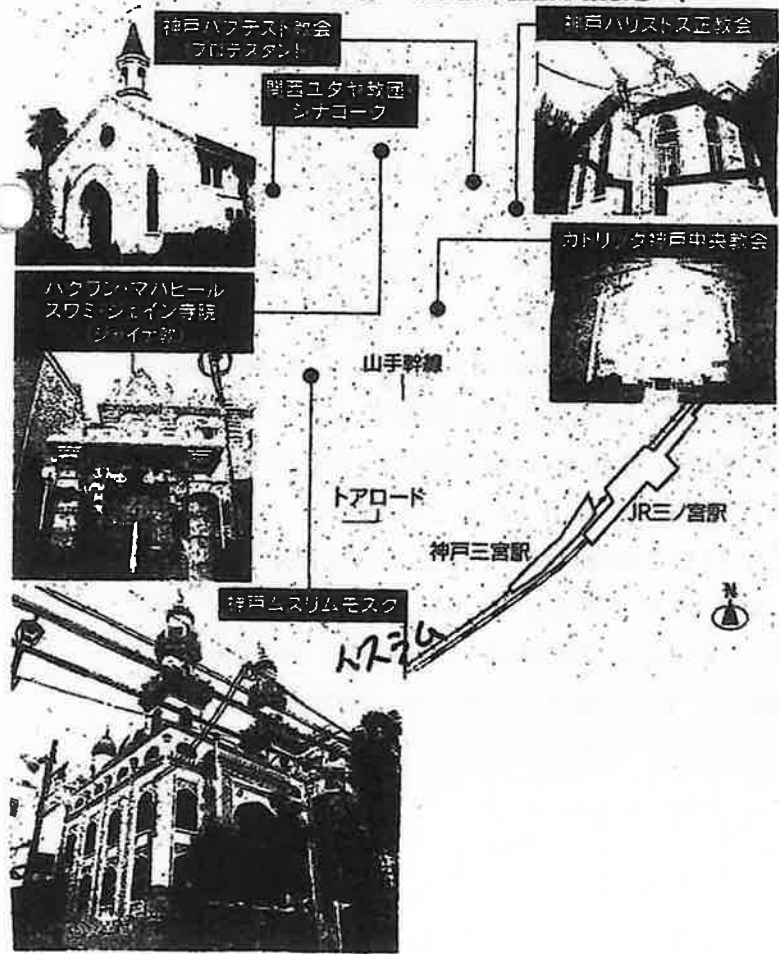
イスラエルとハマスを巡る中東の関係



イスラエルとハマスを巡る関係図



神戸・北野地区には様々な宗教の施設が集まる



停戦や自制を要請  
トルコやUAE、サウジなど  
ロシアや中国など

2018  
Dの戦  
2-11-2  
D2戦  
2018

## 相場展開

NYダウ 2月16日 25,219.38ドル 3月16日 24,946.51ドル 4月6日 23,932.76ドル  
5月4日 24,262.51ドル 6月8日 25,316.53ドル 7月6日 24,456.48ドル 8月17日  
25,669.32ドル 9月7日 25,364.54ドル 10月19日 25,444.34ドル 11月23日 24,285.95  
ドル 12月7日 24,388.95ドル 1月18日 24,706.35ドル 2月6日 25,390.30ドル 3  
月22日 25,502.32ドル 4月18日 26,559.54ドル 5月10日 25,942.37ドル 6月7日  
25,983.94ドル 6月28日 26,599.96ドル 9月6日 26,797.46ドル 10月18日 26,770.20  
ドル 11月15日 28,004.89ドル 12月6日 28,015.06ドル 1月31日 28,256.03ドル  
3月20日 19,173.98ドル 4月9日 23,719.37ドル 5月8日 24,331.32ドル 6月12日  
25,605.54ドル 7月2日 25,827.36ドル 8月14日 27,931.02ドル 9月11日 27,665.64  
ドル 10月16日 28,606.31ドル 11月6日 28,323.40ドル 12月11日 30,046.37ドル  
1月15日 30,814.26ドル 2月5日 31,148.24ドル 3月19日 32,627.97ドル 4月16  
日 34,200.67ドル 5月7日 34,777.76ドル 6月4日 34,756.39ドル 6月18日 33,290.08  
ドル 7月16日 34,687.85ドル 8月27日 35,455.80ドル 9月24日 34,798.00ドル  
10月22日 35,677.02ドル 11月26日 34,899.34ドル 12月23日 35,950.56ドル 1月  
24日 34,265.37ドル 2月11日 34,738.06ドル 3月25日 34,861.24ドル 5月13日  
32,196.66ドル 6月10日 31,392.79ドル 7月22日 31,899.29ドル 8月19日 33,706.74  
ドル 9月9日 32,151.71ドル 10月21日 31,082.56ドル 11月25日 34,347.07ドル  
1月20日 33,375.49ドル 2月10日 33,869.27ドル 3月17日 31,861.98ドル 4月21  
日 33,808.96ドル 5月19日 33,426.63ドル 6月9日 33,876.78ドル 8月25日 34,346.  
90ドル 9月22日 33,963.84ドル 10月20日 33,127.28ドル

米ドル円 2月19日 106.545円 3月19日 105.832円 4月9日 106.941円 5月7日  
108.973円 6月11日 109.957円 7月9日 110.47円 8月20日 110.643円 9月10日  
111.110円 10月22日 112.590円 11月26日 113.233円 12月10日 112.31円 1月  
21日 109.642円 2月7日 110.067円 3月25日 109.793円 4月22日 111.951円 5  
月13日 109.737円 6月10日 108.501円 7月1日 108.251円 9月9日 106.894円  
10月21日 108.487円 11月18日 108.793円 12月9日 108.599円 2月3日 108.518  
円 3月23日 110.187円 4月13日 107.952円 5月11日 107.070円 6月15日 107.226  
円 7月6日 107.633円 8月17日 106.486円 9月14日 106.057円 10月19日  
105.450円 11月9日 103.528円 12月14日 103.964円 1月18日 103.762円 2月8  
日 105.458円 3月22日 108.746円 4月19日 108.510円 5月10日 108.82円 6月  
7日 109.501円 6月21日 109.881円 7月19日 109.964円 8月30日 109.786円 9  
月27日 110.677円 10月25日 113.686円 11月29日 113.301円 12月27日 114.484  
円 1月21日 113.782円 2月14日 115.401円 3月28日 123.11円 5月16日 128.972

円 6月13日 134.976円 7月25日 136.375円 8月22日 136.839円 9月12日 142.90  
円 10月24日 149.096円 11月28日 138.28円 1月23日 130.208円 2月13日  
132.022円 3月20日 131.733円 4月24日 134.166円 5月22日 137.92円 6月12  
日 139.56円 8月28日 146.37円 9月25日 148.42円 10月23日 149.93円

日経平均株価 2月19日 22,149.21円 3月19日 21,524.40円 4月9日 21,580.42円  
5月7日 22,372.14円 6月11日 22,804.04円 7月9日 22,065.90円 8月20日 22,199.00  
円 9月10日 22,373.09円 10月22日 22,462.54円 11月26日 21,815.55円 12月10  
日 21,191.23円 1月21日 20,739.64円 2月7日 20,751.28円 3月25日 20,930.27円  
4月22日 22,221.00円 5月13日 21,237.71円 6月10日 21,111.38円 7月1日  
21,729.97円 9月9日 21,305.89円 10月21日 22,551.70円 11月18日 23,366.79円  
12月9日 23,461.59円 2月3日 22,981.99円 3月23日 16,887.78円 4月13日  
19,043.40円 5月11日 20,390.66円 6月15日 21,530.95円 7月6日 22,714.44円 8  
月17日 23,096.75円 9月14日 23,559.30円 10月19日 23,671.13円 11月9日  
24,839.84円 12月14日 26,732.44円 1月18日 28,242.21円 2月8日 29,388.50円  
3月22日 29,174.15円 4月19日 29,685.37円 5月10日 29,518.34円 6月7日  
29,019.24円 6月21日 28,010.93円 7月19日 27,652.74円 8月30日 27,789.29円  
9月27日 30,240.06円 10月25日 28,600.41円 11月29日 28,283.92円 12月27日  
28,676.46円 1月24日 27,588.37円 2月14日 27,079.59円 3月28日 27,943.89円  
5月16日 26,547.05円 6月13日 27,038.83円 7月25日 27,699.25円 8月22日  
28,794.50円 9月12日 28,542.11円 10月24日 26,974.90円 11月28日 28,162.83円  
1月23日 26,906.04円 2月13日 27,427.32円 3月20日 26,945.67円 4月24日  
28,593.52円 5月22日 31,086.82円 6月12日 32,434.00円 8月28日 32,169.99円  
9月25日 32,678.62円 10月23日 30,999.55円

TOPIX 2月19日 1,775.15 3月19日 1,716.86 4月9日 1,719.06 5月7日 1,764.22  
6月11日 1,786.84 7月9日 1,709.26 8月20日 1,692.15 9月10日 1,687.61 10月  
22日 1,684.49 11月26日 1,633.50 12月10日 1,587.87 1月21日 1,569.59 2月7日  
1,569.03 3月25日 1,573.10 4月22日 1,619.01 5月13日 1,547.56 6月10日 1,  
548.25 7月1日 1,584.85 9月9日 1,546.25 10月21日 1,629.73 11月18日 1,697.06  
12月9日 1,720.45 2月3日 1,673.53 3月23日 1,292.01 4月13日 1,405.91 5月11  
日 1,480.62 6月15日 1,530.78 7月6日 1,577.15 8月17日 1,609.82 9月14日  
1,651.10 10月19日 1,637.98 11月9日 1,681.90 12月14日 1,790.52 1月18日  
1,845.49 2月8日 1,923.95 3月22日 1,990.18 4月19日 1,956.56 5月10日 1,952.27  
6月7日 1,960.85 6月21日 1,899.45 7月19日 1,907.13 8月30日 1,950.14 9月27  
日 2,087.74 10月25日 1,995.42 11月29日 1,948.48 12月27日 1,977.90 1月24日

1,929.87 2月14日 1,930.65 3月28日 1,973.37 5月16日 1,863.26 6月13日  
1,903.52 7月25日 1,943.21 8月22日 1,992.59 9月12日 1,980.22 10月24日  
1,887.19 11月28日 2,004.31 1月23日 1,945.38 2月13日 1,977.67 3月20日  
1,920.30 4月24日 2,037.34 5月22日 2,175.90 6月12日 2,238.77 8月28日  
2,299.81 9月25日 2,385.50 10月23日 2,238.81

日経レバ(1358) 2月19日 18,480円 3月19日 17,240円 4月9日 17,690円 5月7  
日 19,050円 6月11日 19,730円 7月9日 18,380円 8月20日 18,560円 9月10日  
18,860円 10月22日 19,160円 11月26日 17,910円 12月10日 16,880円 1月21  
日 16,110円 2月7日 16,100円 3月25日 16,300円 4月22日 18,680円 5月13日  
17,040円 6月10日 16,750円 7月1日 17,800円 9月9日 16,890円 10月21日  
19,220円 11月18日 20,570円 12月9日 20,690円 2月3日 19,840円 3月23日  
10,330円 4月13日 13,160円 5月11日 15,040円 6月15日 16,660円 7月6日  
18,480円 8月17日 19,020円 9月14日 19,700円 10月19日 20,110円 11月9日  
22,170円 12月14日 25,410円 1月18日 28,370円 2月8日 30,550円 3月22日  
29,970円 4月19日 31,350円 5月10日 31,000円 6月7日 29,750円 6月21日  
27,690円 7月19日 26,870円 8月30日 27,070円 9月27日 31,950円 10月25日  
28,850円 11月29日 28,120円 12月27日 28,800円 1月24日 26,595円 2月14日  
25,580円 3月28日 27,070円 5月16日 24,700円 6月13日 25,525円 7月25日  
26,580円 8月22日 28,660円 9月12日 28,120円 10月24日 25,380円 11月28日  
27,530円 1月23日 25,120円 2月13日 26,075円 3月20日 25,165円 4月24日  
28,755円 5月22日 33,940円 6月12日 36,890円 8月28日 36,070円 9月25日  
37,210円 10月23日 33,750円



### 1. 対立の現状：イスラエル・ハマスの衝突の衝撃

ハマースとは：パレスチナのガザ地区を実効支配するイスラム組織

目的：反イスラエル闘争(インティファダ)

武力によるイスラエル打倒

パレスチナでのイスラム国家樹立

ガザの地下：1,370のトンネル、ハマースが潜伏

最高指導者：イスマイル・ハニヤ 設立年：1987年

中東和平を目指すパレスチナ解放機構(PLO)と対立

パレスチナ自治政府・アッバス議長的主流派フタタハと抗争、ガザを武力制圧

欧米はテロ組織に認定

ヨルダン川西岸地区：アッバス議長の拠点、パレスチナ人が居住

ユダヤ人の入植にパレスチナ側は反発

現在、ハマースのイスラエル奇襲にイスラエル軍が応戦、ガザ攻撃

世界有数の情報機関「モサド」、イスラエル軍は事前に察知できず

SPY

### 2. 対立の歴史

戦争直後のパレスチナ地方：英国による委任統治、ユダヤ人の入植者が増加

戦後、国際連合(UN)がアラブ人とユダヤ人の両地域にパレスチナを分割

1948年：イスラエル建国

アラブ連合がイスラエル建国に反対：第1次中東戦争(パレスチナ戦争)

100万人以上のアラブ人(パレスチナ人)がパレスチナから追放、難民に：対立の根源

パレスチナ難民：1964年、PLOを結成、対イスラエル抵抗闘争

1956年：エジプトがスエズ運河を国有化

第2次中東戦争(スエズ動乱)：英国・フランス・イスラエルがエジプトに軍事行動

1967年：第3次中東戦争、アラブ諸国とイスラエルの対立

イスラエルはエジプトのシナイ半島、シリアのゴラン高原、ガザ地区、ヨルダン川西

岸を占領

1973年：エジプトとシリアがイスラエルを軍事攻撃

アラブ産油国、イスラエル支援の国に原油禁輸：第1次石油危機

1993年：イスラエルとPLOがパレスチナ人の暫定自治樹立で合意(オスロ合意)

イスラエルのラビン首相が暗殺、再度、対立へ、現在に至る

### 3. 対立の構図

イスラエルと敵対する勢力

・ハマース：ガザ地区を実効支配

・ヒズボラ：レバノンのイスラム教シーア派組織、強大な軍事力

・アラブ諸国：パレスチナ国家樹立を主張

・イラン：ヒズボラ、ハマースに武器・資金供与

イスラエルを擁護する勢力

・米國

・欧州諸国

中国、ロシア：パレスチナを擁護

一方で、イスラエルはアラブ諸国との関係改善を模索  
パレスチナ国家樹立問題を棚上げ

### 4. 今後の焦点

イランの関与

イランが前面に乗り出すと、戦線が急拡大

国際原油価格は急騰

### 5. 対立と貧困撲滅のための対策

宗教共存の理想：神戸・北野地区

歴史の教示

宗教施設が教育の場：庶民に教育、啓蒙

日本：寺子屋

欧州：修道院

現代の課題：教育と食の融合

小学校、中学校と子供食堂のコラボレーション

# 文 化

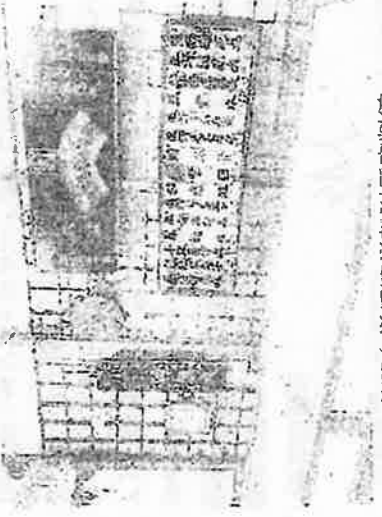
## 近江商人、先見性の源探る

◇伊藤忠や丸紅の原点、SDGsにつながる哲学を家訓や店法に見る◇ 宇佐美 夏樹

てんびんを担いで全  
国各地で物まわり歩く  
行商から始まった近江商人  
は、伊勢商人と並び、近  
江を代表する商人だっ  
た。滋賀県の近江八幡町、  
日野町、旧五箇荘町(現  
栗近江市)などが主な出  
身地だ。伊藤忠商事、丸  
紅の総合商社2社も、大  
上郡豊郷町で生を育んだ  
初代伊藤忠兵衛(184  
2-1903年)を創業  
者とする。

近江商人の先賢は、  
現代のSDGs(持続可  
能な開発目標)につなが  
る「足手よし、口よし、  
手よし、世間よし」  
の「五方よし」の考えに  
反映されると評価する向  
きもある。この言葉自体  
は江戸期からあったわけ  
でなく、20世紀半葉の  
造語だ。しかし近江商  
人が築き上げた足手  
よし、口よし、手よし  
でなく「世間」を意識し  
ていたのが特徴的だ。大  
時代の空気があった。

例として近江商人の家  
屋建築の原則や店法が  
挙げられているが、そこに  
は「利益を争むこと忌む  
り」が、貫くべき最も根  
本的な倫理観を、もっ



滋賀大学経済学部附属史料館  
は近江商人に因る史料を多  
量に所蔵する(滋賀県彦根市)

ばら「勤勉・儉約・正直  
賢達」な商いをするよ  
う定められている。もし  
で儲けた利益は地蔵社  
倉に隠すこと、とり  
わけ人知れず善いことを  
する「陰徳善事」の行爲  
が当然視されていた。

19世紀半ばごろに刷ら  
れた近江商人の藩村「湖  
東中郡日野八幡在女持衆  
家立立約」にまみると、  
200人を超える人々の  
うち、最高位の印が付さ  
れたのは1人のみ。一代  
の成り金は「極めて、何代  
にもわたって社会に貢献  
した善徳を評価する姿  
態」がうかがえる。

では、そうした徳義哲  
学はいかに生まれ育た  
のだったか。伊藤忠大学  
経済学部附属史料館が所  
蔵する近江商人に関する  
豊富な史料や、整理に努  
める伊藤忠兵衛家や今家

の伊藤忠兵衛家などの文  
書史料を委せて読み解  
き、近江商人を窺いし  
てきた。特に他国の商売  
ほとんど見られなかった  
近江商人の多くの店法に  
は泰公人に立身、出世す  
ることを嫌むる素文が  
定められていること、出  
世払いの慣行を示す「出  
世証文」が多量に存在し  
ていることが注目した。そ  
れらは従来、あまり関心  
を向けられていなかった。  
伊藤忠などは、群  
衆に受け取った取引先や  
金遣りて返さない人  
店のお金遣い込みで  
公人ただ、出世した第  
かつきには必ず返済しま  
すと誓われていても、実  
現しない可能性が高い  
が、近江商人の間では誰  
かがやりとりされた。  
私はそこに独自の「立  
身・出世観」をみる。近  
江商人にとって、立身と  
は店内で昇進すること、  
出世とは独立して店を構  
えるか終生主家に勤める  
ことだった。一人前の商  
人に育つのは「出世」では  
ない。だからこそ一回失敗  
したからといって切り捨  
ててしまふのではなく、  
良い目で再建を見守りた  
い。そうした思いが「出  
世証文」に込められている  
のではないか。秘蔵の研究  
成果は「近江商人と出世  
払い」(吉川文館、  
2011年)にまとめた。

近年は、もっぱら伊藤  
忠兵衛家、丸紅家文書、  
伊藤忠商事、丸紅社内伝  
米文書の整理と研究に注

力している。1998年  
に伊藤忠兵衛家文書が見  
つかり、約8千点を整理  
し公開している。ま  
た2003年には伊  
藤忠兵衛家文館(伊藤忠  
出陣)から伝米文書が発  
見され、20年かけて整理  
中である。丸紅からも伝  
米文書資料をお預かりして  
目録を作成した。ほとん

く、伊藤忠の足跡  
は史料である。  
これらの紹介を  
今年10月16日(日)  
に「初代伊藤忠  
兵衛家文館」で開  
く。商人としての徳義  
観、家風としての  
倫理観、口よし、手  
よし、世間よし、  
など、(宇佐美 夏  
樹)

# 時と刻

万人と同じく、水邊を生かした穀物の集積地として発展した同様の歴史を持つ。文化都市、金融都市といふ目指す方向性も同じだ。ただ、半世紀の歩みを振り返ると姉妹都市が互いに高め合いつつ、互いに、先を争うシカゴを大阪が追いつける姿が浮かんでくる。

1903年11月、大阪市は当時の大島靖市長がシカゴを訪問し、姉妹都市提携を結んだ。大阪市は現在、都市と姉妹都市になっているが、シカゴはブリスバル、サンパウロ（1969年）について2番目に古い。

**お笑いや食共通通**

両市は定期的に社会福祉実習者の派遣やマラソン大会への招待、高校生の相互訪問などを行ってきた。交流が盛んで関係を良好と話すのは大阪市立地交推進部の新井美穂子。都市間交流担当課長だ。「フルーズ船が行き交い、スタンダードコンビネーションなどの音楽イベントも盛んである。今

## 大阪追うシカゴ都市妹

る。シカゴキャラリーだ。「ドガ」「スター」、カイボット「パリの通り」、雨……。全米屈指のシカゴ美術館が所蔵する名作60点の陶板画の複製が通路の壁にかかる。ギャラリーは2004年、姉妹都市提携30周年を記念して開設された。

「文化共創都市」を掲げる大阪市にとって、シカゴ美術館は目標とすべき美術

「ブランド・シカゴ」の「日曜日の午後」は、美術館の適宜で門外不出の作品。地で見られる「アート」は、ガイドツアーで鑑賞に行われ、教書館も盛んだ。入場者は年間100万、200万人に達し、観光振興に貢献している。

昨年開館した「シカゴ美術館」の所蔵は、2000年22年度は約46万、2001年度

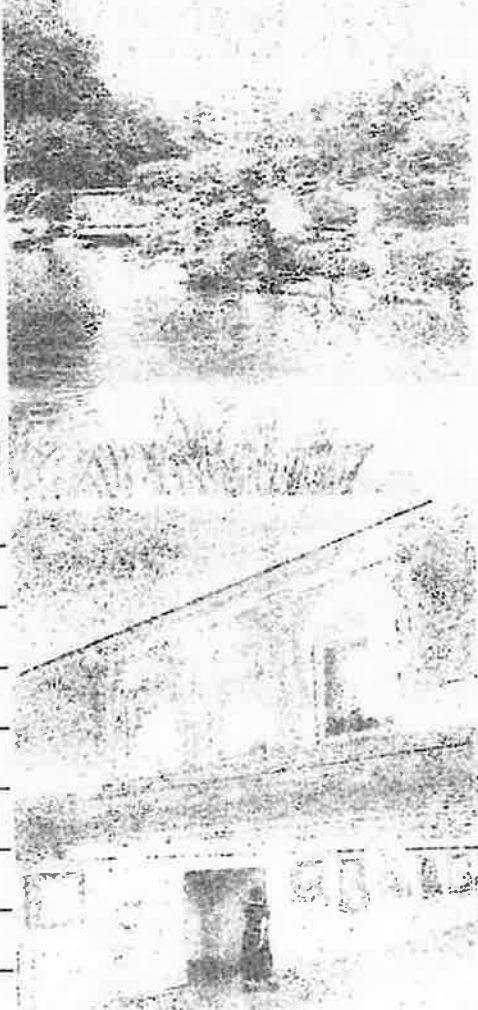
サインを施しての「アート」は、カイブ機能が充実している。大いに参考にしたい。べき美術館の「1」を話す。文化的な街づくりでもシカゴは先を行く。両市にはそれぞれノース・ミシガン・アベニュー、御堂筋というメインストリートがあり、姉妹都市45周年の18年にはストリート協定を結んだ。大阪市は21年、シカゴ

「先物は当初先行」時代を越ると大阪が後進な時代もあった。1930年代、モニュメントがあり街にアートがあふれている。経済でも後れをとる。新型コロナウィルス禍前の域内総生産（GRP）を比べ、19年度の大阪市が約21兆円なのに対し、19年のシカゴ（周辺地域を含む）は約19兆円だ。特に国際金融部門の差が大きい。

シカゴに商品先物取引所ができた。ところが戦後は日本のデリバティブ取引が盛んになる一方、シカゴは通貨金利など金融先物を充実させた。中心的役割を担ったのが世界最大級の取引所、シカゴ・マーカンタイル取引所（CME）で周辺には金融取引所が花開いた。

「かつてシカゴを訪問した時、CMEの関係者から、差違がある大阪から来た人に教えることはないと言われた」と苦笑するのは大阪堂島商品取引所（現堂島取引所）元理事長の岡本安明氏だ。「大阪が率先してデリバティブ取引を拡充すべきなのに一昨年、政府は大阪のCME先物を上場禁止に追い込んだ。今一度シカゴを手本に金融都市を目指すべきだ」と力を込める。

大阪ガーデンとも呼ばれるシカゴのフェニックス・ガーデン



大阪ミナミ、なんばウォークの一角にあるシカゴギャラリー

シカゴのメインストリート「ノース・ミシガン・アベニュー」



- 阪市とシカゴ市、交流のあゆみ
- 大阪市がシカゴ事務所を設置し職員を派遣
  - 両市の商工会議所がパートナー提携を締結
  - 大島靖市長がシカゴを訪問し姉妹都市提携
  - シカゴの「大阪ガーデン」再整備スタート
  - 姉妹都市25周年を記念しシカゴで狂言公演
  - なんばウォークにシカゴキャラリーを開設
  - 市職員の駐在先であるシカゴ事務所を閉鎖
  - 45周年を記念し姉妹ストリート協定を結ぶ
  - 両市の高校生が合唱等通しオンライン交流

今夏、横山英幸市長を隊長とする17人の視察団はシカゴを6日間訪問。国際金融都市への取り組みをプレゼンター・シモン、協力を求めた。CMEグループのレオ・シラット名誉会長からは「大阪はイノベティブでポテンシャルが高い」との言葉をかけられた。

大阪とシカゴが姉妹を築いたライバルとなり、世界屈指の都市を競い合う時代が来るのか。

# 札の 経済学

## 漢方が常備薬に 価格は1割高

薬師が「漢方薬は、西洋薬と比べて、効果が優れている」として、漢方薬の需要が増えている。一方、漢方薬の原料は、中国産のものが多く、価格が高騰している。このため、漢方薬の価格は、1割ほど高くなった。漢方薬の原料は、中国産のものが多く、価格が高騰している。このため、漢方薬の価格は、1割ほど高くなった。漢方薬の原料は、中国産のものが多く、価格が高騰している。このため、漢方薬の価格は、1割ほど高くなった。

## スマホが普及する 電子商取引も伸びる



漢方薬の原料は、中国産のものが多く、価格が高騰している。このため、漢方薬の価格は、1割ほど高くなった。漢方薬の原料は、中国産のものが多く、価格が高騰している。このため、漢方薬の価格は、1割ほど高くなった。

漢方薬の原料は、中国産のものが多く、価格が高騰している。このため、漢方薬の価格は、1割ほど高くなった。漢方薬の原料は、中国産のものが多く、価格が高騰している。このため、漢方薬の価格は、1割ほど高くなった。

### 中国から薬品時代に由来

漢方薬の原料は、中国産のものが多く、価格が高騰している。このため、漢方薬の価格は、1割ほど高くなった。漢方薬の原料は、中国産のものが多く、価格が高騰している。このため、漢方薬の価格は、1割ほど高くなった。

## 処方箋なしの漢方薬

### 購入時は専門家に相談

漢方薬は、西洋薬と比べて、効果が優れている。しかし、漢方薬の原料は、中国産のものが多く、価格が高騰している。このため、漢方薬の価格は、1割ほど高くなった。漢方薬の原料は、中国産のものが多く、価格が高騰している。このため、漢方薬の価格は、1割ほど高くなった。

漢方薬の原料は、中国産のものが多く、価格が高騰している。このため、漢方薬の価格は、1割ほど高くなった。漢方薬の原料は、中国産のものが多く、価格が高騰している。このため、漢方薬の価格は、1割ほど高くなった。

漢方薬の原料は、中国産のものが多く、価格が高騰している。このため、漢方薬の価格は、1割ほど高くなった。漢方薬の原料は、中国産のものが多く、価格が高騰している。このため、漢方薬の価格は、1割ほど高くなった。

漢方薬の原料は、中国産のものが多く、価格が高騰している。このため、漢方薬の価格は、1割ほど高くなった。漢方薬の原料は、中国産のものが多く、価格が高騰している。このため、漢方薬の価格は、1割ほど高くなった。

漢方薬の原料は、中国産のものが多く、価格が高騰している。このため、漢方薬の価格は、1割ほど高くなった。漢方薬の原料は、中国産のものが多く、価格が高騰している。このため、漢方薬の価格は、1割ほど高くなった。

### 風邪の症状に効く漢方薬の需要が増えている

名称	効能・効果の例	販売の伸び	平均単価
かぜおとすおしるけ	かぜおとすおしるけ	54.9%	1520円
かぜおとすおしるけ	かぜおとすおしるけ	35.1	2349
かぜおとすおしるけ	かぜおとすおしるけ	26.5	1496
かぜおとすおしるけ	かぜおとすおしるけ	21.3	1458
かぜおとすおしるけ	かぜおとすおしるけ	16.3	958

大阪府・市が目指す「国際金融都市構想」の実現に向けた動きが鈍い。2025年度までに外資系との金融関連企業を30社誘致する目標を掲げる。現時点の進出企業は社のみ。同じく国際金融都市を標榜する福岡に比べる。「数値目標を明確にせず、幅広国・地域に根拠をアローチを続ける姿勢が批判される。

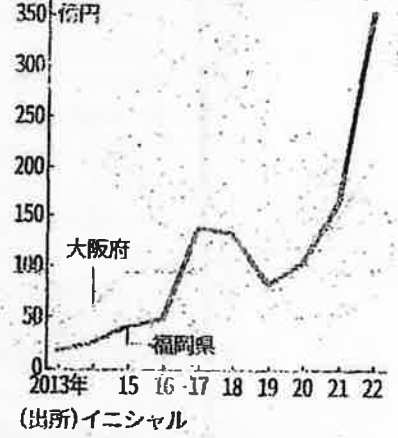
大阪国際金融都市への道

新興育成と並行の福岡に後れ

目指す具体像、検証を

福岡市 推進組織 TEAM FUKUOKA  
 会長 倉富純男氏 (九州経済開発協会会長)  
 設立年月 2020年9月  
 設立総額 19社  
 設立日 8月7日  
 設立時間 19時  
 設立場所 福岡市  
 設立趣旨 なし

スタートアップの資金調達額で大阪は福岡に逆転された



カンボジア企業の日本法人「スペースネットジャパン」(大阪市)は、日本に滞在するカンボジア人向けに本國へ簡単に送金できるサービス「送金」を開始した。大阪に比べて、大阪府のスタートアップの資金調達額は、福岡県に劣る。大阪府は、スタートアップの資金調達額を増やすことを目指している。大阪府は、スタートアップの資金調達額を増やすことを目指している。大阪府は、スタートアップの資金調達額を増やすことを目指している。

「進出」へのカウントには「大阪でビジネスを始める」ということではないと説明する企業もある。モルガン・スタンレーM&A証券は5月に事業継続計画(BCP)の一環で大阪に事務所を設けた。ただ、口座管理などの事務拠点であり、営業機能やトレーニングフロアはない。大阪の金融関係者は「スタートアップの進出を促す」

「スタートアップの進出を促す」

府市はベインを皮切りに誘致を急ぐとした。福岡市の担当者は「何社も誘致できなかった。誘致を急ぐとした。福岡市の担当者は「何社も誘致できなかった。誘致を急ぐとした。福岡市の担当者は「何社も誘致できなかった。誘致を急ぐとした。」

福岡は企業誘致だけでなく、スタートアップ市場でも先を行く。情報サービス(IIS)のインシタルによると、福岡のスタートアップの22年の資金調達額は前年比約2.2倍の353億円と、大阪(36%)増の203億円を2年連続で上回り、都道府県別の順位も東京都に次ぐ2位につけた。

大阪府は、スタートアップの資金調達額を増やすことを目指している。大阪府は、スタートアップの資金調達額を増やすことを目指している。大阪府は、スタートアップの資金調達額を増やすことを目指している。

「スタートアップの進出を促す」

福岡は企業誘致だけでなく、スタートアップ市場でも先を行く。情報サービス(IIS)のインシタルによると、福岡のスタートアップの22年の資金調達額は前年比約2.2倍の353億円と、大阪(36%)増の203億円を2年連続で上回り、都道府県別の順位も東京都に次ぐ2位につけた。

大阪府は、スタートアップの資金調達額を増やすことを目指している。大阪府は、スタートアップの資金調達額を増やすことを目指している。大阪府は、スタートアップの資金調達額を増やすことを目指している。

大阪府は、スタートアップの資金調達額を増やすことを目指している。大阪府は、スタートアップの資金調達額を増やすことを目指している。大阪府は、スタートアップの資金調達額を増やすことを目指している。

### 大阪とせつげんの歴史

明治初期 セつげんの製造が始まる。豊原川沿いに工場が点在

1909年 牛乳石炭共産社の前身「共産會 石炭製造所」が大坂に創業

31年 瀬川製炭後に在阪メーカーが海外輸出を加强

45年 空襲が大坂市東部を直撃。多くの工場が焼失

56年 在阪メーカー26社でせつげん普及をめざし大阪石炭協会を創設

93年 固形せつげんの生産量が10万トンを下回る

2011年度 牛乳石炭共産社で液体せつげんの売り上げが固形を上回る

現在 せつげんメーカーが固形せつげんの再興に奔走

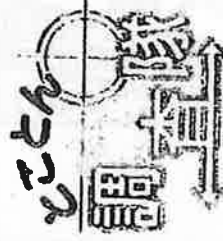


「せつげん」の歴史は、大阪府の産業の発展と深く関係している。大阪府は、その豊富な資源と技術的な進歩により、この産業の中心地として発展してきた。大阪府は、その豊富な資源と技術的な進歩により、この産業の中心地として発展してきた。

経済産業省の統計によると、2020年の大阪府の粗甲せつげん(炭素)の生産量は、10万トンに達した。これは、2019年の生産量の約1.5倍に達した。この増加は、大阪府の産業の発展と深く関係している。大阪府は、その豊富な資源と技術的な進歩により、この産業の中心地として発展してきた。

## 水都、製造・運搬に有利

大阪府は、その豊富な資源と技術的な進歩により、この産業の中心地として発展してきた。大阪府は、その豊富な資源と技術的な進歩により、この産業の中心地として発展してきた。大阪府は、その豊富な資源と技術的な進歩により、この産業の中心地として発展してきた。



## 「固形」復権へ若者取り込み

大阪府は、その豊富な資源と技術的な進歩により、この産業の中心地として発展してきた。大阪府は、その豊富な資源と技術的な進歩により、この産業の中心地として発展してきた。大阪府は、その豊富な資源と技術的な進歩により、この産業の中心地として発展してきた。

阪商業大学総合経営学部長 津 濟学博士

# 津 濟学博士の ヌイザイ最前線

陰矢のごとし。極悪非道なロ  
・プーチン政権によるウクラ  
軍事侵略が始まって早くも1  
が経過した。軍事行動をテー  
する講演の際、今でも「一体  
、プーチン大統領はウクライ



く。キエフ(キエフ)を首都とする  
キエフ大公国(キエフルーシ)  
が産声を上げるのは882年のこ  
とである。それゆえに現在のウク  
ライナ、ベラルーシ、ロシアはキ  
エフ大公国を文化的なルーツとす  
る。つまりキエフは東スラブ民族  
の魂なのである。

ちに名づけた国名に過ぎない。コ  
ンスタンティノープルに暮らす民  
は自らをローマ人だと認識してい  
た。

980年に即位したキエフ大公  
国のヴォロディミール大帝は、ビ  
ザンツ帝国のバシレイオス2世の  
妹・皇女アンナを后(きさき)に

プーチンこそ反逆者  
プーチン大統領の暴挙は歴史へ  
の挑戦である。キエフがロシアに  
含まれないこと、ユダヤ系のゼレ  
ンスキー大統領がキエフに鎮座す  
る現実を許せない。だが、史実を素  
直に直視できないプーチン大統領  
こそスラブ世界の反逆者である。

る。少子高齢化  
の世代を失った  
は中・長期的に  
もろろんウク  
題は山積する。  
実視され、ウク  
が本格化すると  
発揮できる。日  
界に誇る。ウク  
表する農業大國  
援できる分野は

## ロシア軍事侵攻の本質

投げかけられる。この問題を説明  
するためには歴史を紐解く(ひも  
と)く必要がある。  
ウクライナのルーツ  
日本史で平安時代と区分される  
ころ、欧州北方から南下した民族  
が先住民と同化、スラブ化してい

一方、地中海世界を支配してい  
たローマ帝国は395年、東西に  
分裂、コンスタンティノープルを  
都として東ローマ帝国(ビザンツ  
帝国)が誕生する。ただ、東ロー  
マ帝国やビザンツ帝国という國家  
は実際には存在せず、歴史家かの

迎える。政敵と向き合わざるを得  
ないバシレイオス2世が、キエフ  
大公国との同盟関係を模索した結  
果である。ヴォロディミール大帝  
はアンナを花嫁に迎える見返りと  
して、6000人に及ぶ傭兵(よ  
うへい)をビザンツ帝国に送り込

ウクライナの首都キエフはスラ  
フ民族の故郷である。モスクワ大  
公国が成立するのは1263年、  
帝政ロシアの頂点に立ったロマノ  
フ王朝が姿を現すのは1613年  
のことである。歴史はウクライ  
ナ、ウクライナ正教がスラブ世界  
の本流、本家だと教えている。

中津孝司(なかつこうじ)さ  
ん略歴  
現在は大阪商業大学総合経営学  
部教授、博士(経済学)。198  
9年神戸大学大学院経済学研究科  
博士後期課程単位取得満期退学、  
87、88年コソボ・プリシュティ  
ナ大学政府奨学生留学。近著「プ

「プーチン帝國滅亡」  
版)、編著書「世  
チャイナ・リスカ  
」(創成社)、  
電を買取する日」  
大阪府出身。1  
まれ、62歳。

<b>領収書貼付用紙</b>		10/30	No.
支出内容	会議費	国際イギリスフォーラム	33
総経費	39,240 円	政務活動費	計上額 39,240 円
			按分率 1

※按分の場合は、按分の内容と政務活動費として計上する金額を記載すること。  
 ※図書等の購入については、領収書で書名が確認できないときは余白に記載すること。  
 ※その他、補足事項があるときは余白に記載すること。

### 領 収 書

様

Receipt  
 領収年月日 2023.10.30 登録番号: T1120001059675  
 金額 ¥27,740 (消費税等込み) 税10%

上記金額確かに領収いたしました  
 購入商品 JR乗車券類  
 (00210, 4枚)  
 西日本旅客鉄道株式会社  
 河内永和MK1発行 10211-01

印紙税申告納  
付につき大淀  
税務署承認済

領収書 兼 利用明細書

野田しょう子 様

領収金額		¥11,500
パッケージご利用代		¥11,400
**宿泊税		¥100
小計		¥11,500
10%対象 宿泊税	¥11,400 ¥100	内消費税 ¥1,036
合計		¥11,500
		** 非課税対象
現金		¥11,500

部屋番号 : 1121  
 宿泊期間 : 2023/10/30 - 2023/10/31

アパホテル (六本木SIX)  
 TEL 03-5545-3011

アパホテル株式会社

登録番号: T4010401043403  
 取引番号: 010006P103044546 2023/10/30 20:52  
 ・本領収書は再発行できません。

宿泊棟: B棟  
 お部屋: 11階 1121号室

氏名 ノダショウコ 様

### ご案内

宿泊期間 2023/10/30 - 2023/10/31  
 チェックアウト時間: 10:00

●公道のご案内  
 D棟、E棟の間には公道が通っております。  
 移動の際はお車にお気を付け下さい。

●Wi-Fiのご案内  
 ID: TV画面でご確認くださいませ。  
 PW: TV画面でご確認くださいませ。

●朝食のご案内  
 前売: 1,700円/当日: 1,900円  
 (小学生半額、小学生未満無料)

●内線番号は7番です

今すぐアプリ登録!  
 先着で500ポイント  
 プレゼント!



2023/10/30 20:52

ハアルスツッノ使用欄

会員番号 \_\_\_\_\_



No. 33

会議費 活動記録簿

会派名とその経理責任者名

東大阪 翔の会

野田 彰子



年月日	令和 5年 10月 30日 (月) ~ 31日
会議名称	国際ウケル 7年-10
主催者	世界ウケル協会・日本ウケル国会議連盟
開催場所	<del>世界ウケル</del> 泉花院会館 国際会議場
参加人数	約 500名 (2日間)
目的・内容	ウケルを応援する全国地方議員の会 副会長として 会議に出席 地方に於ける交流の促進及び発展とこれに 対応して 各地方の 世界との 関係の強化に 貢献し 物品の 輸出入の 促進 移住も含め 交流に 取り組む。

上記会議に要した経費の内訳を下記に記載する。

経費項目	支出明細	金額	経費項目	支出明細	金額
参加費					
交通費	新大阪-東京	27,740			
宿泊費		11,500			
備考			支出合計	39,240	

会議の開催通知・スケジュール等を添付すること。

ただし、添付できない理由がある場合は理由を明記すること。

野田 しょう子

2023年10月30日

東京へ

和歌山研修から 帰阪したところですが 衆議院議員会館 国際会議場にての金曜 東京に向かいます。

# TUF 国際ウイグルフォーラム

ウイグルシエノサイトを断して許さないとの強力なメッセージをここ日本から発信しましょう！





国会内で開かれていた中国政府によるウイグル民族への迫害政策への対応を考える「国際ウイグルフォーラム」が31日、2日間の一連の日程を終えて閉会した。25カ国から政治家や学者、ジャーナリストら約200人が出席し、ウイグル人が直面する深刻な人権侵害行為を終わらせるための方策について議論した。フォーラムは超党派の「中国による人権侵害を究明し行動する議員連盟」、亡命ウイグル人で行く民族団体「世界ウイグル会議」（本部・ドイツ）などが主催。30日に開会し、収容所でのウイグル人女性に対する性暴力の実態や、強制労働を防止するための法整備の在り方などを議題に計約20のパネルディスカッションなどが行われた。中国による人権侵害を究明し行動する議連の会長を務める自民党の古屋圭司元国家公安委員長は、閉会後の記者会見で「中国による許しがたい行動にストップをかけられるか、よい議論ができた」と述べ、「フォーラムは本格的な対策をするためのキックオフだ。共通の価値観を持つ国々がさらに連携していく」と強調した。

領収書貼付用紙				1991	No. 34
支出内容	資料購入費	新聞購読料			
総経費	3600 円	政務活動費	計上額	3600 円	按分率 1

※按分の場合は、按分の内容と政務活動費として計上する金額を記載すること。  
 ※図書等の購入については、領収書で書名が確認できないときは余白に記載すること。  
 ※その他、補足事項があるときは余白に記載すること。

## 領収証

野田彰子 様

4 年 10 月 31 日

金額					
					3600-

内 領収料 但  
 消費税等

現金			
小切手			

HISAGO #778

上記正に領収いたしました  
**株式会社東大阪新聞社**  
 東大阪新聞 八尾柏原支社  
 〒581-0013 大阪府八尾市山本町南6-229  
 TEL. 072-926-5134 FAX 072-921-6893  
 T 2 1 2 2 0 0 1 0 2 6 1 3 4



10月分 労働時間表

スタッフ

月	日	曜日	時 間	時 間	合計時間	
10	1	日	10:00~12:00	13:00~17:00	6	
	2	月				
	3	火		18:30~20:30	2	
	4	水		18:30~20:30	2	
	5	木				
	6	金		18:30~21:30	3	
	7	土				
	8	日	10:00~12:00	13:00~17:00	6	
	9	月	10:00~12:00	13:00~18:00	7	
	10	火				
	11	水				
	12	木		18:30~20:30	2	
	13	金				
	14	土				
	15	日	10:00~12:00	13:00~18:00	7	
	16	月				
	17	火		18:30~21:30	3	
	18	水				
	19	木		18:30~20:30	2	
	20	金		18:30~21:30	3	
	21	土				
	22	日	10:00~12:00	13:00~17:00	6	
	23	月		18:30~21:30	3	
	24	火				
	25	水		18:30~20:30	2	
	26	木		18:30~20:30	2	
	27	金		18:30~21:30	3	
	28	土				
	29	日	10:00~12:00	13:00~18:00	7	
	30	月				
	31	火		18:30~22:30	4	
2023年 10月分合計時間					70	84,000 円

領収書貼付用紙		11/10	No. 36
支出内容	その他経費 (日常活動費) 電車賃チャージ代		
総経費	10,000 円	政務活動費	計上額 2,500 円
			按分率 $\frac{1}{4}$

※按分の場合は、按分の内容と政務活動費として計上する金額を記載すること。  
 ※図書等の購入については、領収書で書名が確認できないときは余白に記載すること。  
 ※その他、補足事項があるときは余白に記載すること。

領 収 書

ご利用日付 : 2023年11月10日  
 カード番号 : XXXXXXXXXX  
 取引内容 : チャージ  
 金 10000円

伝票番号 : XXXXXXXXXX

- ・この領収書は大切に保存してください
- ・ご利用ありがとうございます

河内小阪駅9113号機発行  
 近畿日本鉄道株式会社

領収書貼付用紙		1/3	No. 37
支出内容	会議費	儲かりマンデー	
総経費	1,100 円	政務活動費	計上額 1,100 円
			按分率 1

※按分の場合は、按分の内容と政務活動費として計上する金額を記載すること。  
 ※図書等の購入については、領収書で書名が確認できないときは余白に記載すること。  
 ※その他、補足事項があるときは余白に記載すること。

領 収 証                      野田 しょうこ                      様                      No. \_\_\_\_\_

★ ￥ 1,100-

但 儲かりマンデー

登録番号:T1810053619232

令和 5年 11月 13日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額 \_\_\_\_\_  
 消費税額等( %) \_\_\_\_\_

税理士 \_\_\_\_\_  
 TEL \_\_\_\_\_

収 入  
 印 紙

コクヨ ウケ-55

注) 1ページに複数枚の貼り付け可。ただし、重ならないように貼り付けること。



No. 37

会議費 活動記録簿

会派名とその経理責任者名

東大阪 翔の会

野田 彰子



年月日	令和 5年 11月 13日 ( 月 )
会議名称	経済の勉強会 儲かりマンデー
主催者	[Redacted]
開催場所	[Redacted]
参加人数	13 名
目的・内容	<p>大阪商業大学 総合経済学部 敬愛                  [Redacted] 経済学部2 のレジャー                  主に 倫理法人会 の出張型                  経営塾 の身 毎月 1回                  経営 人材 育成 を 目的 と する。</p>

上記会議に要した経費の内訳を下記に記載する。

経費項目	支出明細	金額	経費項目	支出明細	金額
参加費		1,100			
備考			支出合計		1,100

会議の開催通知・スケジュール等を添付すること。

ただし、添付できない理由がある場合は理由を明記すること。

# 地銀株、8年ぶり高水準

## 関西上場5行利ざや改善期待

日銀政策再修正

日銀が引いた最長金利操作（ツールカーブ・コントロール、YCC）の再修正に踏み切ったことを受け、関西の上場地銀の株価は急騰した。時価総額は8年ぶりの高水準となり、滋賀銀行株は16年ぶりの高値をつけた。「金利のある世界」が迫る中、有価証券の運用や貸し出しの原資となる預金をいかに集めることが重要だが、今後の地銀の業績を占つ大きなポイントになりそうだ。

関西の地銀をみると、京都銀行の預金残高（譲渡性預金含む）は9兆1046億円（23年3月末時点）と、全5地銀中9位となっている。

行（85% 10位）や非上場の信濃銀行（83%、16位）も高い。積極的な貸し出しに動いて利ざやを稼ぐ地銀にとって金利上昇は追い風となる。

市場には「年度内のマイナス金利解除はないとみている」（関西地銀の市場部門担当者）との見方が大勢で、金利上昇が地銀の経営に大きく影響するまでは時間がかかるとみられる。ただ、関連だけでなく金融政策の正常化に向けた動きは加速しており、地銀には周到な準備が求められる。

（田村匠）

### 原資の預金獲得焦点

関西の上場5地銀の株価は日銀の政策修正観測が広がった後に急騰した。滋賀銀行の株価は一時3990円と、2007年12月以来およそ16年ぶりの高値をつけた。池田泉州銀行を筆下持つ池田泉州ホールディングス（HD）株も5年ぶりの高値となった。京都銀行を筆下持つ京都フィナンシャルグループ（FSG）、南都銀行、紀陽銀行を合わせた5地銀の時価総額は合計で1兆1487億円と、19年7月1日

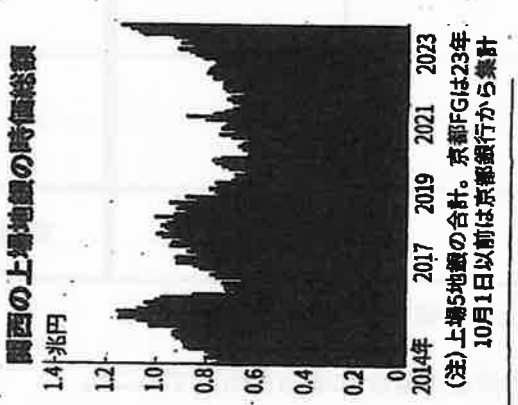
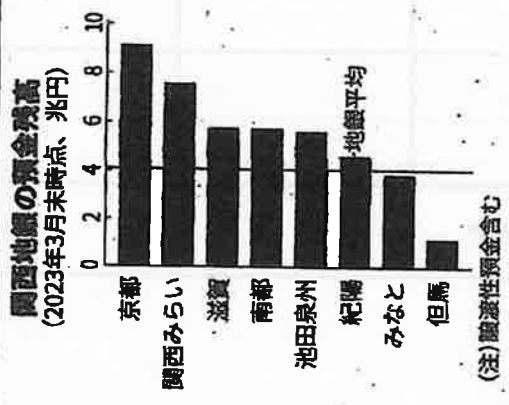
地銀にとっては金利が上昇すれば、より高利回りの債券に投資できる機会が増えることとなる。

関西地銀の市場部門担当者は「再修正まで3カ月と少し早い気はしたが、修正の内容としてはおおむね想定の範囲内だった」と指摘。「長期金利が1%で定着するとは考えられず、いまは淡々と（債券を）買っていく」とした。

今後は債券運用を貸し出しに回す原資となる預金残高の多寡が「銀行にとって非常に大事になる」（金融機関幹部）。

関西唯一の第二地銀である関西みらいFG傘下のみなと銀行も3兆8301億円と、わずか地銀平均（4兆762億円）を回るものの40位に入っており、他地域にも増して市場が大きい関西の地銀は総じて多くの預金を抱えている。今後は預金獲得のために預金金利の引き上げ競争が起きる可能性もある。

低金利競争にしのぎを削ってきた貸し出しを巡っては、預金に占める貸し出しの割合を不採算率がポイントとなる。関西みらいFG傘下の関西銀行は91%と全地銀中5位で、池田泉州銀



注) 2014年10月1日以前は京都銀行から集計

## 相場展開

NYダウ 2月16日 25,219.38ドル 3月16日 24,946.51ドル 4月6日 23,932.76ドル  
5月4日 24,262.51ドル 6月8日 25,316.53ドル 7月6日 24,456.48ドル 8月17日  
25,669.32ドル 9月7日 25,364.54ドル 10月19日 25,444.34ドル 11月23日 24,285.95  
ドル 12月7日 24,388.95ドル 1月18日 24,706.35ドル 2月6日 25,390.30ドル 3  
月22日 25,502.32ドル 4月18日 26,559.54ドル 5月10日 25,942.37ドル 6月7日  
25,983.94ドル 6月28日 26,599.96ドル 9月6日 26,797.46ドル 10月18日 26,770.20  
ドル 11月15日 28,004.89ドル 12月6日 28,015.06ドル 1月31日 28,256.03ドル 3  
月20日 19,173.98ドル 4月9日 23,719.37ドル 5月8日 24,331.32ドル 6月12日  
25,605.54ドル 7月2日 25,827.36ドル 8月14日 27,931.02ドル 9月11日 27,665.64  
ドル 10月16日 28,606.31ドル 11月6日 28,323.40ドル 12月11日 30,046.37ドル  
1月15日 30,814.26ドル 2月5日 31,148.24ドル 3月19日 32,627.97ドル 4月16  
日 34,200.67ドル 5月7日 34,777.76ドル 6月4日 34,756.39ドル 6月18日 33,290.08  
ドル 7月16日 34,687.85ドル 8月27日 35,455.80ドル 9月24日 34,798.00ドル 10  
月22日 35,677.02ドル 11月26日 34,899.34ドル 12月23日 35,950.56ドル 1月24  
日 34,265.37ドル 2月11日 34,738.06ドル 3月25日 34,861.24ドル 5月13日  
32,196.66ドル 6月10日 31,392.79ドル 7月22日 31,899.29ドル 8月19日 33,706.74  
ドル 9月9日 32,151.71ドル 10月21日 31,082.56ドル 11月25日 34,347.07ドル 1  
月20日 33,375.49ドル 2月10日 33,869.27ドル 3月17日 31,861.98ドル 4月21日  
33,808.96ドル 5月19日 33,426.63ドル 6月9日 33,876.78ドル 8月25日 34,346.  
90ドル 9月22日 33,963.84ドル 10月20日 33,127.28ドル 11月10日 34,283.10ド  
ル 1月12日 37,592.98ドル 2月16日 38,627.99ドル 3月15日 38,714.77ドル

米ドル円 2月19日 106.545円 3月19日 105.832円 4月9日 106.941円 5月7日  
108.973円 6月11日 109.957円 7月9日 110.47円 8月20日 110.643円 9月10日  
111.110円 10月22日 112.590円 11月26日 113.233円 12月10日 112.31円 1月  
21日 109.642円 2月7日 110.067円 3月25日 109.793円 4月22日 111.951円 5  
月13日 109.737円 6月10日 108.501円 7月1日 108.251円 9月9日 106.894円 10  
月21日 108.487円 11月18日 108.793円 12月9日 108.599円 2月3日 108.518円  
3月23日 110.187円 4月13日 107.952円 5月11日 107.070円 6月15日 107.226  
円 7月6日 107.633円 8月17日 106.486円 9月14日 106.057円 10月19日 105.450  
円 11月9日 103.528円 12月14日 103.964円 1月18日 103.762円 2月8日 105.458  
円 3月22日 108.746円 4月19日 108.510円 5月10日 108.82円 6月7日 109.501  
円 6月21日 109.881円 7月19日 109.964円 8月30日 109.786円 9月27日 110.677  
円 10月25日 113.686円 11月29日 113.301円 12月27日 114.484円 1月21日

113.782円 2月14日 115.401円 3月28日 123.11円 5月16日 128.972円 6月13日 134.976円 7月25日 136.375円 8月22日 136.839円 9月12日 142.90円 10月24日 149.096円 11月28日 138.28円 1月23日 130.208円 2月13日 132.022円 3月20日 131.733円 4月24日 134.166円 5月22日 137.92円 6月12日 139.56円 8月28日 146.37円 9月25日 148.42円 10月23日 149.93円 11月13日 151.72円 1月15日 145.476円 2月19日 149.963円 3月18日 149.05円

日経平均株価 2月19日 22,149.21円 3月19日 21,524.40円 4月9日 21,580.42円 5月7日 22,372.14円 6月11日 22,804.04円 7月9日 22,065.90円 8月20日 22,199.00円 9月10日 22,373.09円 10月22日 22,462.54円 11月26日 21,815.55円 12月10日 21,191.23円 1月21日 20,739.64円 2月7日 20,751.28円 3月25日 20,930.27円 4月22日 22,221.00円 5月13日 21,237.71円 6月10日 21,111.38円 7月1日 21,729.97円 9月9日 21,305.89円 10月21日 22,551.70円 11月18日 23,366.79円 12月9日 23,461.59円 2月3日 22,981.99円 3月23日 16,887.78円 4月13日 19,043.40円 5月11日 20,390.66円 6月15日 21,530.95円 7月6日 22,714.44円 8月17日 23,096.75円 9月14日 23,559.30円 10月19日 23,671.13円 11月9日 24,839.84円 12月14日 26,732.44円 1月18日 28,242.21円 2月8日 29,388.50円 3月22日 29,174.15円 4月19日 29,685.37円 5月10日 29,518.34円 6月7日 29,019.24円 6月21日 28,010.93円 7月19日 27,652.74円 8月30日 27,789.29円 9月27日 30,240.06円 10月25日 28,600.41円 11月29日 28,283.92円 12月27日 28,676.46円 1月24日 27,588.37円 2月14日 27,079.59円 3月28日 27,943.89円 5月16日 26,547.05円 6月13日 27,038.83円 7月25日 27,699.25円 8月22日 28,794.50円 9月12日 28,542.11円 10月24日 26,974.90円 11月28日 28,162.83円 1月23日 26,906.04円 2月13日 27,427.32円 3月20日 26,945.67円 4月24日 28,593.52円 5月22日 31,086.82円 6月12日 32,434.00円 8月28日 32,169.99円 9月25日 32,678.62円 10月23日 30,999.55円 11月13日 32,585.11円 1月15日 35,901.79円 2月19日 38,470.38円 3月18日 39,740.44円

ノ 配付員 2日分

配付の期間

2月  
34日

TOPIX 2月19日 1,775.15 3月19日 1,716.86 4月9日 1,719.06 5月7日 1,764.22 6月11日 1,786.84 7月9日 1,709.26 8月20日 1,692.15 9月10日 1,687.61 10月22日 1,684.49 11月26日 1,633.50 12月10日 1,587.87 1月21日 1,569.59 2月7日 1,569.03 3月25日 1,573.10 4月22日 1,619.01 5月13日 1,547.56 6月10日 1,548.25 7月1日 1,584.85 9月9日 1,546.25 10月21日 1,629.73 11月18日 1,697.06 12月9日 1,720.45 2月3日 1,673.53 3月23日 1,292.01 4月13日 1,405.91 5月11日 1,480.62 6月15日 1,530.78 7月6日 1,577.15 8月17日 1,609.82 9月14日 1,651.10 10月19日 1,637.98 11月9日 1,681.90 12月14日 1,790.52 1月18日 1,845.49 2

3. 海山  
地学

2月  
17日

月 8 日 1923.95 3 月 22 日 1,990.18 4 月 19 日 1,956.56 5 月 10 日 1,952.27 6 月 7 日  
 1,960.85 6 月 21 日 1,899.45 7 月 19 日 1,907.13 8 月 30 日 1,950.14 9 月 27 日 2,087.74  
 10 月 25 日 1,995.42 11 月 29 日 1,948.48 12 月 27 日 1,977.90 1 月 24 日 1,929.87 2  
 月 14 日 1,930.65 3 月 28 日 1,973.37 5 月 16 日 1,863.26 6 月 13 日 1,903.52 7 月 25  
 日 1,943.21 8 月 22 日 1,992.59 9 月 12 日 1,980.22 10 月 24 日 1,887.19 11 月 28 日  
 2,004.31 1 月 23 日 1,945.38 2 月 13 日 1,977.67 3 月 20 日 1,920.30 4 月 24 日 2,037.34  
 5 月 22 日 2,175.90 6 月 12 日 2,238.77 8 月 28 日 2,299.81 9 月 25 日 2,385.50 10 月  
 23 日 2,238.81 11 月 13 日 2,336.62 1 月 15 日 2,524.60 2 月 19 日 2,639.69 3 月 18  
 日 2,721.99

日経レバ(1358) 2 月 19 日 18,480 円 3 月 19 日 17,240 円 4 月 9 日 17,690 円 5 月 7  
 日 19,050 円 6 月 11 日 19,730 円 7 月 9 日 18,380 円 8 月 20 日 18,560 円 9 月 10 日  
 18,860 円 10 月 22 日 19,160 円 11 月 26 日 17,910 円 12 月 10 日 16,880 円 1 月 21  
 日 16,110 円 2 月 7 日 16,100 円 3 月 25 日 16,300 円 4 月 22 日 18,680 円 5 月 13 日  
 17,040 円 6 月 10 日 16,750 円 7 月 1 日 17,800 円 9 月 9 日 16,890 円 10 月 21 日 19,220  
 円 11 月 18 日 20,570 円 12 月 9 日 20,690 円 2 月 3 日 19,840 円 3 月 23 日 10,330 円  
 4 月 13 日 13,160 円 5 月 11 日 15,040 円 6 月 15 日 16,660 円 7 月 6 日 18,480 円 8  
 月 17 日 19,020 円 9 月 14 日 19,700 円 10 月 19 日 20,110 円 11 月 9 日 22,170 円 12  
 月 14 日 25,410 円 1 月 18 日 28,370 円 2 月 8 日 30,550 円 3 月 22 日 29,970 円 4 月  
 19 日 31,350 円 5 月 10 日 31,000 円 6 月 7 日 29,750 円 6 月 21 日 27,690 円 7 月 19  
 日 26,870 円 8 月 30 日 27,070 円 9 月 27 日 31,950 円 10 月 25 日 28,850 円 11 月 29  
 日 28,120 円 12 月 27 日 28,800 円 1 月 24 日 26,595 円 2 月 14 日 25,580 円 3 月 28  
 日 27,070 円 5 月 16 日 24,700 円 6 月 13 日 25,525 円 7 月 25 日 26,580 円 8 月 22  
 日 28,660 円 9 月 12 日 28,120 円 10 月 24 日 25,380 円 11 月 28 日 27,530 円 1 月 23  
 日 25,120 円 2 月 13 日 26,075 円 3 月 20 日 25,165 円 4 月 24 日 28,755 円 5 月 22  
 日 33,940 円 6 月 12 日 36,890 円 8 月 28 日 36,070 円 9 月 25 日 37,210 円 10 月 23  
 日 33,750 円 11 月 13 日 37,130 円 1 月 15 日 45,060 円 2 月 19 日 51,440 円 3 月 18  
 日 54,850 円

金

19 2000 円

10000 円

日経レバ

5 月 10 日 1,952.27

6月7日 1,960.85 6月21日 1,899.45 7月19日 1,907.13 8月30日 1,950.14 9月27日 2,087.74 10月25日 1,995.42 11月29日 1,948.48 12月27日 1,977.90 1月24日 1,929.87 2月14日 1,930.65 3月28日 1,973.37 5月16日 1,863.26 6月13日 1,903.52 7月25日 1,943.21 8月22日 1,992.59 9月12日 1,980.22 10月24日 1,887.19 11月28日 2,004.31 1月23日 1,945.38 2月13日 1,977.67 3月20日 1,920.30 4月24日 2,037.34 5月22日 2,175.90 6月12日 2,238.77 8月28日 2,299.81 9月25日 2,385.50 10月23日 2,238.81 11月13日 2,336.62

日経レバ(1358) 2月19日 18,480円 3月19日 17,240円 4月9日 17,690円 5月7日 19,050円 6月11日 19,730円 7月9日 18,380円 8月20日 18,560円 9月10日 18,860円 10月22日 19,160円 11月26日 17,910円 12月10日 16,880円 1月21日 16,110円 2月7日 16,100円 3月25日 16,300円 4月22日 18,680円 5月13日 17,040円 6月10日 16,750円 7月1日 17,800円 9月9日 16,890円 10月21日 19,220円 11月18日 20,570円 12月9日 20,690円 2月3日 19,840円 3月23日 10,330円 4月13日 13,160円 5月11日 15,040円 6月15日 16,660円 7月6日 18,480円 8月17日 19,020円 9月14日 19,700円 10月19日 20,110円 11月9日 22,170円 12月14日 25,410円 1月18日 28,370円 2月8日 30,550円 3月22日 29,970円 4月19日 31,350円 5月10日 31,000円 6月7日 29,750円 6月21日 27,690円 7月19日 26,870円 8月30日 27,070円 9月27日 31,950円 10月25日 28,850円 11月29日 28,120円 12月27日 28,800円 1月24日 26,595円 2月14日 25,580円 3月28日 27,070円 5月16日 24,700円 6月13日 25,525円 7月25日 26,580円 8月22日 28,660円 9月12日 28,120円 10月24日 25,380円 11月28日 27,530円 1月23日 25,120円 2月13日 26,075円 3月20日 25,165円 4月24日 28,755円 5月22日 33,940円 6月12日 36,890円 8月28日 36,070円 9月25日 37,210円 10月23日 33,750円 11月13日 37,130円

相場展開

NYダウ 2月16日 25,219.38ドル 3月16日 24,946.51ドル 4月6日 23,932.76ドル  
5月4日 24,262.51ドル 6月8日 25,316.53ドル 7月6日 24,456.48ドル 8月17日  
25,669.32ドル 9月7日 25,364.54ドル 10月19日 25,444.34ドル 11月23日 24,285.95  
ドル 12月7日 24,388.95ドル 1月18日 24,706.35ドル 2月6日 25,390.30ドル 3  
月22日 25,502.32ドル 4月18日 26,559.54ドル 5月10日 25,942.37ドル 6月7日  
25,983.94ドル 6月28日 26,599.96ドル 9月6日 26,797.46ドル 10月18日 26,770.20  
ドル 11月15日 28,004.89ドル 12月6日 28,015.06ドル 1月31日 28,256.03ドル  
3月20日 19,173.98ドル 4月9日 23,719.37ドル 5月8日 24,331.32ドル 6月12日  
25,605.54ドル 7月2日 25,827.36ドル 8月14日 27,931.02ドル 9月11日 27,665.64  
ドル 10月16日 28,606.31ドル 11月6日 28,323.40ドル 12月11日 30,046.37ドル  
1月15日 30,814.26ドル 2月5日 31,148.24ドル 3月19日 32,627.97ドル 4月16  
日 34,200.67ドル 5月7日 34,777.76ドル 6月4日 34,756.39ドル 6月18日 33,290.08  
ドル 7月16日 34,687.85ドル 8月27日 35,455.80ドル 9月24日 34,798.00ドル  
10月22日 35,677.02ドル 11月26日 34,899.34ドル 12月23日 35,950.56ドル 1月  
24日 34,265.37ドル 2月11日 34,738.06ドル 3月25日 34,861.24ドル 5月13日  
32,196.66ドル 6月10日 31,392.79ドル 7月22日 31,899.29ドル 8月19日 33,706.74  
ドル 9月9日 32,151.71ドル 10月21日 31,082.56ドル 11月25日 34,347.07ドル  
1月20日 33,375.49ドル 2月10日 33,869.27ドル 3月17日 31,861.98ドル 4月21  
日 33,808.96ドル 5月19日 33,426.63ドル 6月9日 33,876.78ドル 8月25日 34,346.  
90ドル 9月22日 33,963.84ドル 10月20日 33,127.28ドル 11月10日 34,283.10ド  
ル

米ドル円 2月19日 106.545円 3月19日 105.832円 4月9日 106.941円 5月7日  
108.973円 6月11日 109.957円 7月9日 110.47円 8月20日 110.643円 9月10日  
111.110円 10月22日 112.590円 11月26日 113.233円 12月10日 112.31円 1月  
21日 109.642円 2月7日 110.067円 3月25日 109.793円 4月22日 111.951円 5  
月13日 109.737円 6月10日 108.501円 7月1日 108.251円 9月9日 106.894円  
10月21日 108.487円 11月18日 108.793円 12月9日 108.599円 2月3日 108.518  
円 3月23日 110.187円 4月13日 107.952円 5月11日 107.070円 6月15日 107.226  
円 7月6日 107.633円 8月17日 106.486円 9月14日 106.057円 10月19日  
105.450円 11月9日 103.528円 12月14日 103.964円 1月18日 103.762円 2月8  
日 105.458円 3月22日 108.746円 4月19日 108.510円 5月10日 108.82円 6月  
7日 109.501円 6月21日 109.881円 7月19日 109.964円 8月30日 109.786円 9  
月27日 110.677円 10月25日 113.686円 11月29日 113.301円 12月27日 114.484

円 1月21日 113.782円 2月14日 115.401円 3月28日 123.11円 5月16日 128.972円  
6月13日 134.976円 7月25日 136.375円 8月22日 136.839円 9月12日 142.90円  
10月24日 149.096円 11月28日 138.28円 1月23日 130.208円 2月13日 132.022円  
3月20日 131.733円 4月24日 134.166円 5月22日 137.92円 6月12日 139.56円  
8月28日 146.37円 9月25日 148.42円 10月23日 149.93円 11月13日 151.72円

日経平均株価 2月19日 22,149.21円 3月19日 21,524.40円 4月9日 21,580.42円  
5月7日 22,372.14円 6月11日 22,804.04円 7月9日 22,065.90円 8月20日 22,199.00円  
9月10日 22,373.09円 10月22日 22,462.54円 11月26日 21,815.55円 12月10日 21,191.23円  
1月21日 20,739.64円 2月7日 20,751.28円 3月25日 20,930.27円 4月22日 22,221.00円  
5月13日 21,237.71円 6月10日 21,111.38円 7月1日 21,729.97円 9月9日 21,305.89円  
10月21日 22,551.70円 11月18日 23,366.79円 12月9日 23,461.59円 2月3日 22,981.99円  
3月23日 16,887.78円 4月13日 19,043.40円 5月11日 20,390.66円 6月15日 21,530.95円 7月6日 22,714.44円  
8月17日 23,096.75円 9月14日 23,559.30円 10月19日 23,671.13円 11月9日 24,839.84円  
12月14日 26,732.44円 1月18日 28,242.21円 2月8日 29,388.50円 3月22日 29,174.15円  
4月19日 29,685.37円 5月10日 29,518.34円 6月7日 29,019.24円 6月21日 28,010.93円  
7月19日 27,652.74円 8月30日 27,789.29円 9月27日 30,240.06円 10月25日 28,600.41円  
11月29日 28,283.92円 12月27日 28,676.46円 1月24日 27,588.37円 2月14日 27,079.59円  
3月28日 27,943.89円 5月16日 26,547.05円 6月13日 27,038.83円 7月25日 27,699.25円  
8月22日 28,794.50円 9月12日 28,542.11円 10月24日 26,974.90円 11月28日 28,162.83円  
1月23日 26,906.04円 2月13日 27,427.32円 3月20日 26,945.67円 4月24日 28,593.52円  
5月22日 31,086.82円 6月12日 32,434.00円 8月28日 32,169.99円 9月25日 32,678.62円  
10月23日 30,999.55円 11月13日 32,585.11円

TOPIX 2月19日 1,775.15 3月19日 1,716.86 4月9日 1,719.06 5月7日 1,764.22  
6月11日 1,786.84 7月9日 1,709.26 8月20日 1,692.15 9月10日 1,687.61 10月22日 1,684.49  
11月26日 1,633.50 12月10日 1,587.87 1月21日 1,569.59 2月7日 1,569.03  
3月25日 1,573.10 4月22日 1,619.01 5月13日 1,547.56 6月10日 1,548.25  
7月1日 1,584.85 9月9日 1,546.25 10月21日 1,629.73 11月18日 1,697.06  
12月9日 1,720.45 2月3日 1,673.53 3月23日 1,292.01 4月13日 1,405.91 5月11日 1,480.62  
6月15日 1,530.78 7月6日 1,577.15 8月17日 1,609.82 9月14日 1,651.10  
10月19日 1,637.98 11月9日 1,681.90 12月14日 1,790.52 1月18日 1,845.49  
2月8日 1,923.95 3月22日 1,990.18 4月19日 1,956.56 5月10日 1,952.27



# サービスにも波及

10月の消費者物価上昇率が3.6%と40年8カ月ぶりの伸びとなった。資源高や円安を背景にインフレの裾野が広がり、調査対象に占める値上がり品目の比率は8割に迫る。低迷が続いたサービス価格の上昇率も0.8%と消費増税後の2015年3月以来の水準に高まった。物価高の勢いに値上げが追いつかなければ景気の下振れ圧力が強まる。

## エネ・生鮮除いても2%超

総務省が18日発表した。伸び率は変動の激しい生鮮食品を除いて3年前同月比3.7%上が、6%、さらに高騰の目立つエネルギーを除いても2.5%に達した。

インフレの裾野が広がっている  
10月の消費者物価上昇率

生鮮食品除く総合	3.6%	3.0%
生鮮食品とエネルギー除く総合	2.5	1.8
モノ	6.5	(5.6)
・生鮮除く食料	5.9	(4.6)
・エネルギー	15.2	(16.9)
・家庭用耐久財	11.8	(11.3)
サービス	0.8	(0.2)
・外食	5.1	(3.8)
・火災・地震保険料	10.2	(1.0)

(注) 前年同月比、カッコ内は9月の上昇率

成長とともに物価が上昇

	1982年	2022年 (7~9月期)
総合	3.3%	▲1.2%
モノ	3.8%	0.6%*
サービス	1.8%	▲0.5%
生鮮食品除く総合	▲0.9%	▲2.7%*
生鮮食品とエネルギー除く総合	1.8%	▲0.1%

率と潜在成長率は前期比年率、他はGDP除き前年同期比の変化率、\*は4~6月期)ECD

ら範囲も拡大している。モノの上昇率は前月から0.9%高まり6.5%となった。小売り大手が安さを競ってきた家電や大型家具などの家庭用耐久財が11.8%、衣服・靴も2.5%と、身の回りの様々な品目、幅広く値上がりしている。

政府はガソリン補助金などの物価高対策を打っている。みずほリサーチ&テクノロジーズの酒井才介氏によると、10月の物価上昇率はこの補助金で0.7%、観光促進策で0.7%下がり、この2%下がった。こうした政策要因がなければ物価上昇率は4%台半ばに達していた計算になる。インフレは加速しながら範囲も拡大している。

第一生命経済研究所の新家義貴氏は「エネルギー」として生鮮食品を除く522品目のうち7.8%の406品目が値上がりした。この比率は前月から4%上がった。年初の1月の60.0%から急拡大している。物価上昇はここまで進むのか。日本経済新聞が民間エコノミスト5人に聞いたところ、ピークの前測平均は12月の3.8%だった。

海外発のコスト高が主因の物価上昇は長続きしないというのが市場の共通認識だ。日本経済はなお需要不足で、民間の消費や投資が物価を引っ張る力は乏しい。成長しながら物価が安定して上がるといって政府・日銀が思い描く姿にはほど遠い。新型コロナウイルス禍からの景気回復は米欧に後れを取ってきた。直近7~9月期は4四半期ぶりのマイナス成長に沈み、賃金動向を示す「単位労働コスト」も5四半

追いつかなければ、家計の購買力が低下し、デフレ圧力が再び強まりかねない懸念もある。SMB C日興証券の丸山義正氏は家計の期待インフレ率が高まっていることから「デフレに舞い戻るとは考えない」という。それでもこの10月と同じ物価上昇率3.5%を記録した40年前と比べ、日本経済の地盤沈下は明白だ。

1982年は第2次石油危機後の景気後退局面(80年3月~83年2月)ながら、通年の成長率は3%台だった。経済の地力を示す潜在成長率も内閣府の推計では3%台後半で、近年のゼロ%台を大きく上回った。

成長力を取り戻し、十分な賃上げを伴う安定した物価上昇を実現するには生産性の向上が欠かせない。目先の物価高対策ばかりでなく、リスキリング(学び直し)の促進など経済を底上げする賢い政策が求められる。

2%となり、10月は0.8%に跳ね上がった。サービスでは外食の値上げが大きい。すしやハンバーガーなどの大手チェーンが価格転嫁を進め、上昇率は5.1%と9月の3.8%からさらに高まった。人手不足で時給の引き上げを迫られていることも背景にある。

全体として生鮮食品を除く522品目のうち7.8%の406品目が値上がりした。この比率は前月から4%上がった。年初の1月の60.0%から急拡大している。物価上昇はここまで進むのか。日本経済新聞が民間エコノミスト5人に聞いたところ、ピークの前測平均は12月の3.8%だった。

追いつかなければ、家計の購買力が低下し、デフレ圧力が再び強まりかねない懸念もある。SMB C日興証券の丸山義正氏は家計の期待インフレ率が高まっていることから「デフレに舞い戻るとは考えない」という。それでもこの10月と同じ物価上昇率3.5%を記録した40年前と比べ、日本経済の地盤沈下は明白だ。

1982年は第2次石油危機後の景気後退局面(80年3月~83年2月)ながら、通年の成長率は3%台だった。経済の地力を示す潜在成長率も内閣府の推計では3%台後半で、近年のゼロ%台を大きく上回った。

成長力を取り戻し、十分な賃上げを伴う安定した物価上昇を実現するには生産性の向上が欠かせない。目先の物価高対策ばかりでなく、リスキリング(学び直し)の促進など経済を底上げする賢い政策が求められる。

では4%の可能性も否定できない」との見方を示した。政府の電気代支援策などの効果もあって年明けには3%を割り込み、6月までは2%台が続くと予測する。

みずほリサーチ&テクノロジーズの酒井氏は「コストプッシュ型のインフレで持続性はない」と指摘。海外経済の減速で資源価格が落ち替ることなどで23年度後半にゼロ%台に戻るとみる。

油危機後の景気後退局面(80年3月~83年2月)ながら、通年の成長率は3%台だった。経済の地力を示す潜在成長率も内閣府の推計では3%台後半で、近年のゼロ%台を大きく上回った。

成長力を取り戻し、十分な賃上げを伴う安定した物価上昇を実現するには生産性の向上が欠かせない。目先の物価高対策ばかりでなく、リスキリング(学び直し)の促進など経済を底上げする賢い政策が求められる。

日銀は「最近の物価見通しで上方修正を繰り返してきた。22年度の物価上昇率の見通しは22年1月時点で1.1%の手前だったが、4月に1.9%、7月に2.3%、10月に2.9%と段階的に引き上げている。なかでも、10月に23年度の物価上昇率の見通しを目標である2%に近い1.6%に上方修正したことは市場の注目を集めた。ここ最近の黒田総裁

いる「環境は整いつつある」といった出口への一歩前進をおぼやせる発言が増えている。日本経済研究センターが10日まとめた民間エコノミストの経済見通し「ESPフォーキャスト調査」によると、33人のエコノミストのうち28人が今後の金融政策の「引き締め」を予想した。11人は引き締めが「1年内」にあるとみる。ただ、日銀への圧力は

# 日本銀行はマイナス金利を解除するか

大阪商業大学総合経営学部教授・経済学博士・中津孝

マイナス金利解除の場合、いつか  
金融市場が混乱するため、総て前は回避  
2024年1月以降か

## 1. 中央銀行の役割

物価と雇用の安定

金融政策を担当、政府は財政政策

金利水準の調整

利上げ：物価上昇(インフレーション)を抑制

利下げ：物価下落(デフレーション)からの脱却

通貨供給量の調整

好景気局面：国債を売却して市場の通貨を吸収

景気後退局面：国債を買い入れて市場に通貨を供給

## 2. 日本銀行の今

アベノミクスとは

財政出動と金融緩和の同時発動による景気刺激策

日本銀行の金融政策

連続利下げでマイナス金利に

国債の大量購入で通貨供給量を増加

株式投資信託(EITF)の購入

要するに、バブル経済への導き

## 3. 日本銀行の試算

ロシアによるウクライナ軍事侵攻で世界経済の景色は一変

資源エネルギー、食糧の世界的な価格高騰

世界各国の中央銀行が連続利上げを断行、量的金融緩和の修正

その結果：マイナス金利を導入する国は日本だけに

：急激な円安進行、典型的な輸入インフレ

## 4. 日本銀行はマイナス金利解除に動くか

外圧により客観的には脱デフレを実現

内閣府は脱デフレ宣言せず

赤字国債の利払いが膨張

マイナス金利は異例、異常であり、正常化は不可欠

## 5. マイナス金利解除後の景色

マイナス金利解除、欧米諸国の利上げ：金利差の縮小

急激な円安の修正で1ドル180円に

株式市場の動揺

円高による株価下落(金利上昇による株式の相対的な割高感が意識)

金融引き締めが強い銘柄

金融機関など

脱デフレを魅力とする銘柄

不動産会社、鉄道など

円高に強い銘柄

内需株

長田 久

徳川 幸徳